

## 令和7年度第3回愛媛県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和8年2月12日（木） 愛媛県水産会館6階大会議室	
出席委員氏名	委員長 バンダリ ネットラ プラカシュ (愛媛大学 社会共創学部 教授) 委員 柴田 好則 (松山大学 経営学部 准教授) 委員 高橋 直子 (弁護士) 委員 丹下 真由美 (税理士) 委員 森 貴弘 (公認会計士)	
審議対象期間	令和7年8月1日 ～ 令和7年11月30日	
抽出事案	総件数 7 件	(備考) 抽出の考え方 (抽出担当委員) ・入札・契約方式別、部局別、地域別を基本に抽出。
入札後審査型一般競争入札	5 件	
指名競争入札	2 件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【県発注工事に係る入札及び契約手続の運用状況】</p> <p>・意見なし</p>	
<p>【抽出工事に関する説明及び審議】</p> <p>○入札後審査型一般競争入札</p> <p>1. 施第2号 新居浜警察署庁舎新築工事</p> <p>・今回は1JVのみからの応札であったが、最近、新築工事を発注した松山東署や宇和島署などの応札状況はどうか。</p> <p>また、1JVからの応札であったことの背景事情は。</p>	<p>・過去の発注工事の応札状況については手持ち資料を持ち合わせていない。</p> <p>今回、1JVのみからの応札であったことについては、県内でJVの代表者となれる有資格業者は24者、うち東予地区8者、構成員となれる有資格業者は54者、うち東予地区11者あることを確認しており、参加可能業者数としては一定程度あり、入札参加機会、競争性は確保されていると判断している。</p> <p>また、評価項目の中で、地理的要件を設け、新居浜市内に本店を有する業者に最高点を加算することとしていることから、地域性も理由の一つであると考えている。</p> <p>さらには、施工上の制約として、現庁舎を使用しながら現在地で工事することから、事件事故などの警察活動に影響を与えないように工事しなければならないこと、また、一般来庁者への安全対策への配慮が必要で工事現場と一般来庁者の動線が隣接していることなどが主な理由と思われる。</p>
<p>・評価値算出表の工事成績評定点の項目について、JVの場合は3者の平均となるのか。</p> <p>また、工事成績評定や県内下請業者の活用の項目が0点となっているが、施工上支障はないのか。</p>	<p>・JVの場合、各構成員の工事成績評定点の得点にそれぞれの出資比率を乗じたものを合計して算出している。</p> <p>また、入参加資格については、代表者には、地上部の主たる構造が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で、延べ面積が2,700㎡以上、地上4階建て以上の階を有する建築物の元請施工実績を有すること、代表者以外の構成員には、地上部の主たる構造が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の元請施工実績を有することを求めており、評価項目が0点であっても、それぞれ十分な施工能力があると考えている。</p>

意見・質問	回 答
<p>2. 肱特（受託）第7号の1他 （一）肱川水系 肱川 大規模特定河川工事（受託）</p> <p>・ 1 者応札となった理由は。</p>	<p>・ 今回応札のあった業者は県内で唯一、東温市に製作工場を有しており、現場に最も近い業者であったこと、さらに、特に県外業者にとっては、現場までの輸送コスト面で不利になることを考慮したのではないかと考えている。</p> <p>また、四国内でも松山河川国道事務所や土佐国道事務所の外環状道路や南国安芸道路、NE XCO西日本の高速道路延伸などで、数十億円規模という圧倒的に規模が大きい橋梁工事が同時期に10か所以上動いていることから、技術者の配置や輸送コストによる採算性を考慮し、現場に最も近い業者のみの応札となったのではないかと推測している。</p>
<p>・ 橋脚・橋台の工事と今回の橋桁の工事とは別の業者が受注しているのか。</p>	<p>・ 橋脚は一般土木工事であるため、地元の業者が受注している。橋桁は特殊な工事であるため、橋梁の製作工場を保有する業者が受注している。</p>
<p>・ 「受託」 工事とは。</p>	<p>・ 西日本豪雨により甚大な浸水被害があった野村地区では、県が令和9年度の完成を目指し、全長2.2kmにわたり肱川の改修工事を行っている。その中で、河川の拡幅に伴う西予市道の橋の架け替えが必要となり、本来は西予市が施工すべきところ、工程調整を一体化し効率的な施工を図るため、西予市と協定を締結し県が受託して施工している。</p> <p>市道橋の管理は西予市であるが、県の河川改修に伴う架け替えであることから、市にも費用を負担いただいたうえで県が施工している。</p>
<p>・ 肱川は一級河川であることから、河川管理自体は国がやるのか。</p>	<p>・ 一級河川であるが、上流にある野村ダムの約1キロ下流から約5キロの範囲は県で管理している。</p>
<p>・ 橋脚は直接基礎か、杭基礎なら液状化はどうか。</p>	<p>・ 支持地盤は硬い岩盤であるため、直接基礎で計画している。</p>

意見・質問	回 答
<p><b>3. 基設ス頓 (7) 第2号他 頓田川沿岸地区 法面補強 (その9) 工事</b></p> <p>・前年度までに施工を終えている工事とは同じ業者が受注しているのか。 また、応札業者も似たような業者となっているのか。</p>	<p>・前年度までと同じ業者が受注している。</p> <p>応札業者については、今回が9件目の工事となり、当初は1者応札が続いているが、近年、複数業者から応札がある状況である。</p>
<p><b>4. 管理 (万) 第2-1号 万年鵜崎線 林道開設工事</b></p> <p>・応札可能業者が21者いる中で、実際の応札業者が2者であった理由は。 また前年度までと同じ業者が受注しているのか。</p>	<p>・当該工事は林道工事であることから、施工場所は伊予市と砥部町の境の障子山にあり、伊予市、砥部町双方からアクセスが悪い場所になっている。</p> <p>そのため、今回応札のあった2者ともに、旧中山町の佐礼谷地区の業者であり、一番近い業者で現場まで30分ほどとなっている。</p> <p>また、前年度までと同じ業者が受注している。</p>
<p>・評価項目の得点について、落札業者は満点を獲得しているが、これは評価項目が厳しくないため満点をとって当然なのか、あるいは、落札業者が優れていて満点を獲得できたのか。</p>	<p>・一般的な土木工事で特殊な技術力が必要というわけではないため、満点を獲得することも十分あり得ると想定している。</p> <p>また、「地域貢献度」の項目で、社外的な実績が求められることから、業者によっては、ここで差がつくと考えている。</p>
<p>・工期が令和8年3月25日となっているが、次年度繰越とはどういうことか。 また、進捗率30パーセントということ、完成までかなり時間がかかるということか。</p>	<p>・金額に応じた標準工期があり、もともとは3月中に施工可能と想定していたものの、天候などの影響により進捗に遅れが生じ、繰越をやむを得ないと判断している。</p> <p>また、進捗率については、本事業は林道事業ということで、約20年間という長い期間で終点まで開設する事業となっていることから、事業全体で考えると、進捗率が30パーセント程度となっている。</p>

意見・質問	回 答
<p><b>5. 原安第7号の1 原子力センター 空調設備改修工事（第1期）</b></p> <p>・空調設備工事ということで、特殊な工事ではないかと思われるが、第1期と第2期に分けて発注している理由は。</p> <p>・原子力センターでの施工ということで、何か特別な配慮が必要とされるのか。</p>	<p>・令和6年度に一部の空調が故障したため、令和7年度にすべての空調設備を改修する計画であった。</p> <p>しかし、本事業はすべて国の交付金で行うものであることから、事前に原子力規制庁に相談したところ、令和7年度については故障した部分だけ整備をすることとなった。</p> <p>・原子力の分析機器等は特殊品であるが、空調工事に関しては一般的な建物と同様である。</p>
<p>○指名競争入札</p> <p><b>6. (交) 林第1号 影井山 林地荒廃防止工事</b></p> <p>・本工事は土砂や降雨に対して、どういった効果があるのか。</p> <p>また、土留工を2基設置することであるが、他の箇所から土砂流出する可能性はないのか。</p> <p>・応札のあった6者中、落札した1者以外の5者の応札金額が同額であることについては。</p>	<p>・土留工を2基設置することによって、降雨時に下方への土砂流出を防ぐ目的がある。</p> <p>また、この山腹についてはロープ施工により、下流に流れる恐れのある箇所についてはすでに対策をしており、今回の土留工2基により、これ以上、土砂が流れないものと想定している。</p> <p>山腹面の状況から、この地区で雨水が下流に流れる谷は今回の施工箇所だけであることから、これで十分な対策ができていると考えている。</p> <p>・当工事箇所は、崩壊した山腹から流出した岩石、土砂が堆積した箇所で、市道が近く、作業条件や作業効率が悪く困難を要することが予想されるなど、利益が見込めないと判断され、多くの業者が予定価格に近い同額で高い入札率となったものと推察される。</p>
<p><b>7. 南補道防減第103号の1 (一) 網代鳥越線 道路防災・減災対策工事</b></p> <p>・落札率が高い理由は。</p> <p>また、こういった工事は落札率が高くなる傾向があるのか。</p>	<p>・工事規模が小さく、かつ施工ヤードも狭いことから、工期を短縮するなどして経費を抑える余地が少なかったのではないかと考えている。</p> <p>また、同様の工事でも落札率が高くなる傾向が見受けられる。</p>

(問い合わせ先)

松山市一番町四丁目4-2 TEL 089-968-2294

愛媛県入札監視委員会事務局（県庁総務部総務管理局行政経営課内）